

同時資料提供

大阪科学・大学記者クラブ
大阪教育記者クラブ
南大阪記者クラブ
関西レジャー記者クラブ



Tel : 06-6697-6222

大阪市立自然史博物館 第54回特別展
「自然史のイラストレーション ～描いて伝える・描いて楽しむ～」
を開催します

大阪市立自然史博物館では、令和6年2月23日（金・祝）から5月26日（日）まで、特別展「自然史のイラストレーション ～描いて伝える・描いて楽しむ～」を開催します。



スマートフォンが普及し、誰でも常にカメラを持ち歩く時代になりました。日常で観察した生き物を撮影して、SNSやブログなどインターネット上に投稿している方も多いのではないかと思います。一方で、生き物をはじめ、自然史にまつわる様々なことをより深く理解し、より楽しむためには図や絵などによるイラストレーションの力も侮れません。イラストレーションを描く過程では、描き手によって必要な情報が取捨選択されることで、写真とは違った情報を私たちにもたらししてくれます。

本展では、古い文献、論文や図鑑、普及のための資料など、様々な媒体に描かれたイラストレーションを通して、描かれたものの魅力と描いて伝えることの楽しさを紹介します。ペリーの航海記に描かれた日本の生き物の図、化石で新種記載された松ぼっくりの原画、潮の満ち引きに関する絵本の原画、大阪市立自然史博物館友の会会員の詳細な観察スケッチなど、時代やジャンルも幅広いイラストレーションを展示し、誰もが写真を気軽に撮れる今の時代にこそ、絵や図の面白さを考えてみたいと思います。



(チラシビジュアル)

○プレス内覧会を、開幕前日の令和6年2月22日(木)午後0時30分より、大阪市立自然史博物館 本館 集会室および特別展会場で行います。プレス内覧会取材申込書にて前日までにファックスでお申込みください。なお、一般内覧会も午後2時より引き続いて行います。

○広報用画像、読者・視聴者プレゼント用の招待券をご用意しています。

広報用画像申込書、招待券申込書もファックスでお申込みください。

I. 開催概要

1. 名 称 特別展「自然史のイラストレーション ～描いて伝える・描いて楽しむ～」
2. 主 催 大阪市立自然史博物館
3. 会 期 令和6年2月23日（金・祝）～5月26日（日）
4. 開館時間 2月23日～29日 9：30～16：30（入館は16：00まで）
3月1日～5月26日 9：30～17：00（入館は16：30まで）
5. 休 館 日 月曜日（ただし4月29日、5月6日は開館）、5月7日（火）
6. 会 場 大阪市立自然史博物館 ネイチャーホール（花と緑と自然の情報センター2階）
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23
TEL：06-6697-6221 FAX：06-6697-6225
HP：<https://www.omnh.jp/>
地下鉄 Osaka Metro 御堂筋線「長居」駅下車3号出口・東へ約800m
JR 阪和線「長居」駅下車東出口・東へ約1km
7. 観 覧 料 大人500円、高校生・大学生300円
期間内特別展フリーパス 大人1000円、高校生・大学生600円
※本館（常設展）とのセット券は、大人700円、高校生・大学生400円。
※中学生以下、障がい者手帳など持参者（介護者1名を含む）、大阪市内在住の65歳以上の方は無料（要証明）。30人以上の団体割引あり。
※本館（常設展）、長居植物園への入場は別途料金が必要です（セット券を除く）。
8. 後 援 大阪府教育委員会、大阪市教育委員会

Ⅱ. 主な展示

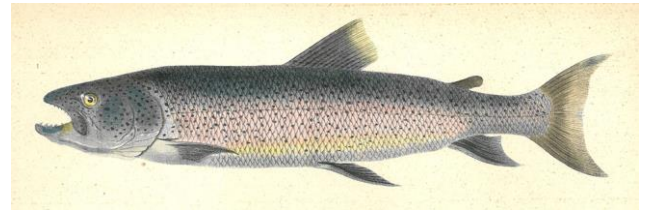
「古い時代の博物図譜」

写真による記録が一般的でなかった時代には絵や図を用いて自然史にまつわる様々な事柄が伝えられていました。江戸時代の園芸書や本草書、古い時代のヨーロッパの椿の図譜や海外の調査団が日本に來航して描いた絵などを紹介します。また、博物学史の研究者である磯野直秀氏の研究資料などを通して、古い時代の絵の研究方法についても紹介します。



<江戸時代に描かれた椿の図譜>

園芸が盛んだった江戸時代には様々な植物の図譜が出版されました。当館所蔵の椿の図譜を中心に、古い時代の絵図の魅力を紹介します。

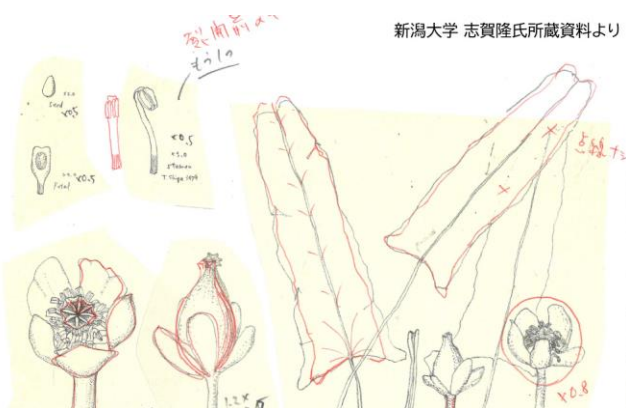


<ペリーの航海記に載ったイトウの図>

江戸時代の末に日本を訪れたペリーの航海記には自然史に関する図も掲載されています。日本最大級の淡水魚であるイトウはこれの中で新種として記載され、色鮮やかな図を添えて紹介されました。

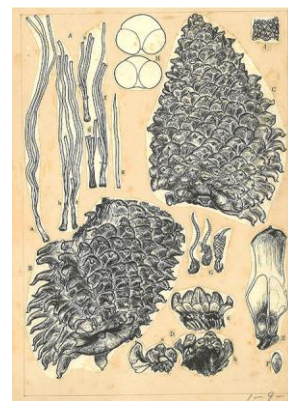
「生き物の新種記載の図」

生き物に新たな名前を付ける際には、タイプ（新種記載の際に指定される標本）が引用され、その生き物の詳細な形が記載された図が描かれます。絶滅危惧植物のシモツケコウホネや化石記録から記載されたオオミツバマツなど大阪市立自然史博物館が所蔵するタイプについて、記載論文で描かれた図を紹介し、生き物を正確に描くとはどういうことか、伝えたいと思います。



<シモツケコウホネの新種記載の図の下書き>

新種記載の論文に掲載された線画の制作過程がわかる資料を展示し、生き物を記載する際の正確な図を描く過程まで紹介します。



<三木茂のオオミツバマツの新種記載の図>

化石を元に新種記載する際にも図が描かれます。オオミツバマツの記載の紹介から、色彩に乏しい化石を線画にすることで細部の構造がよくわかる例を紹介します。

「図鑑に描かれた図」

今日では生き物の図鑑は写真を用いたものが隆盛ですが、かつては線画が主流でした。現在でも必要最小限の情報を提示する、あるいは微細な表現をするうえで線画の良さは衰えていません。牧野日本植物図鑑の分担作画もした山田壽雄による植物図や子ども向けの図鑑や教科書の生き物をたくさん描いた天木茂晴の図など東京大学総合博物館が所蔵する資料を展示します。また、本郷次雄によるキノコ、八木沼健夫のクモなど、大阪市立自然史博物館が所蔵する著名な図鑑等に使われた図を展示します。

<牧野図鑑の図も描いた山田壽雄の植物図>

植物の普及に大きな役割を果たした牧野富太郎の図鑑の下絵と思われる図を展示し、図鑑の作成過程を紹介するとともに、植物図の魅力をお伝えします。



<本郷次雄によるキノコ図鑑の原記載図>

『原色日本真菌類図鑑』に掲載されている図の原画を展示し、日本のキノコ研究の基礎になった菌類図譜の魅力を紹介します。

「絵本『みちては ひいて』の原画」

福音館書店の月刊誌「ちいさなかがくのとも」から2023年2月に出版された『みちては ひいて』は、一日の潮の満ち干によって「海がうごく」様子を紹介した絵本です。絵はイラストレーターの山口哲司さんが描かれ、当館の石田惣学芸員が生き物の絵のチェックをしました。山口さんの下絵の校正と完成した原画を展示し、自然史科学的に正確な絵本が作られる過程を紹介します。



「みちては ひいて」文・澤口たまみ 絵・山口哲司 福音館書店 (ちいさなかがくのとも 2023年2月号)

<「みちては ひいて」>

潮が引いた磯に現れたタイドプールをのぞいて見るシーンでは、20種類以上の生き物が描かれています(左:表紙、右:10~11ページ)。

「自然史科学の普及のための様々なイラスト」

大阪市立自然史博物館では70年以上の歴史の中で、普及のための書籍出版、様々な企画の展示、観察会などの行事を行ってきました。その中で膨大な数のイラストレーションが生み出されてきました。書籍に使われた精緻な線画から、展示パネルに描かれたポップなイラスト、ミュージアムグッズに使われた絵など、自然史博物館に眠る様々な絵や図について紹介し、イラストレーションの楽しさを伝えます。



＜「瀬戸内海の海浜植物」の表紙の原画＞

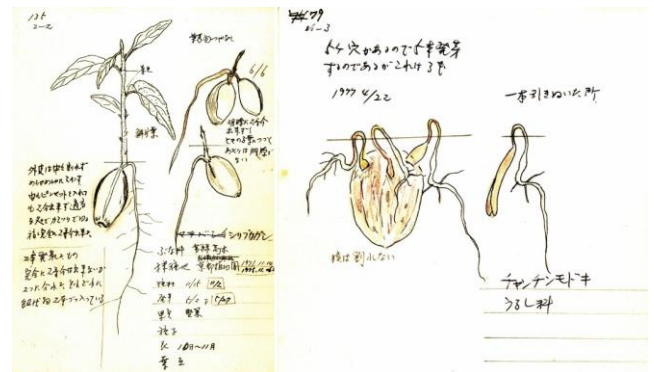
自然史博物館のミニガイド「瀬戸内海の海浜植物」表紙イラストの原画を展示して、親しみをもってもらうための絵が描かれる過程やその思いを紹介します。

＜ミュージアムグッズ大集合！＞

緻密な線画からポップなイラストまで、自然史博物館の歴代のミュージアムグッズ（Tシャツ、バンダナ、バッジなど）を展示して、その魅力について振り返ります。

「博物館友の会の会員が描いた様々なイラスト」

大阪市立自然史博物館友の会の会員の中には自然観察の楽しみが高じて絵や図を描いている人たちがいます。図鑑の線画顔負けの精緻な図を描く人から、詳細な観察に基づくスケッチ、多くの人を楽しませる魅力的なイラストなど、それぞれのスタイルでいろいろな絵や図が描かれています。そういった友の会会員の作品を紹介しながら、イラストを描く楽しさを伝えます。



＜田代貢さんの観察会を楽しむためのイラスト＞

友の会の評議員を長年務めている田代貢さんが描きためてきたイラストを展示し、より楽しい自然観察について考えます。

＜北島浅子さんの芽生えのスケッチ＞

博物館行事の常連だった北島浅子さんは野外行事で集めた種子を発芽させ、多くの芽生えの図を描きました。自然観察にのめり込んだ会員の研究成果を紹介します。

「見てみよう・描いてみよう」

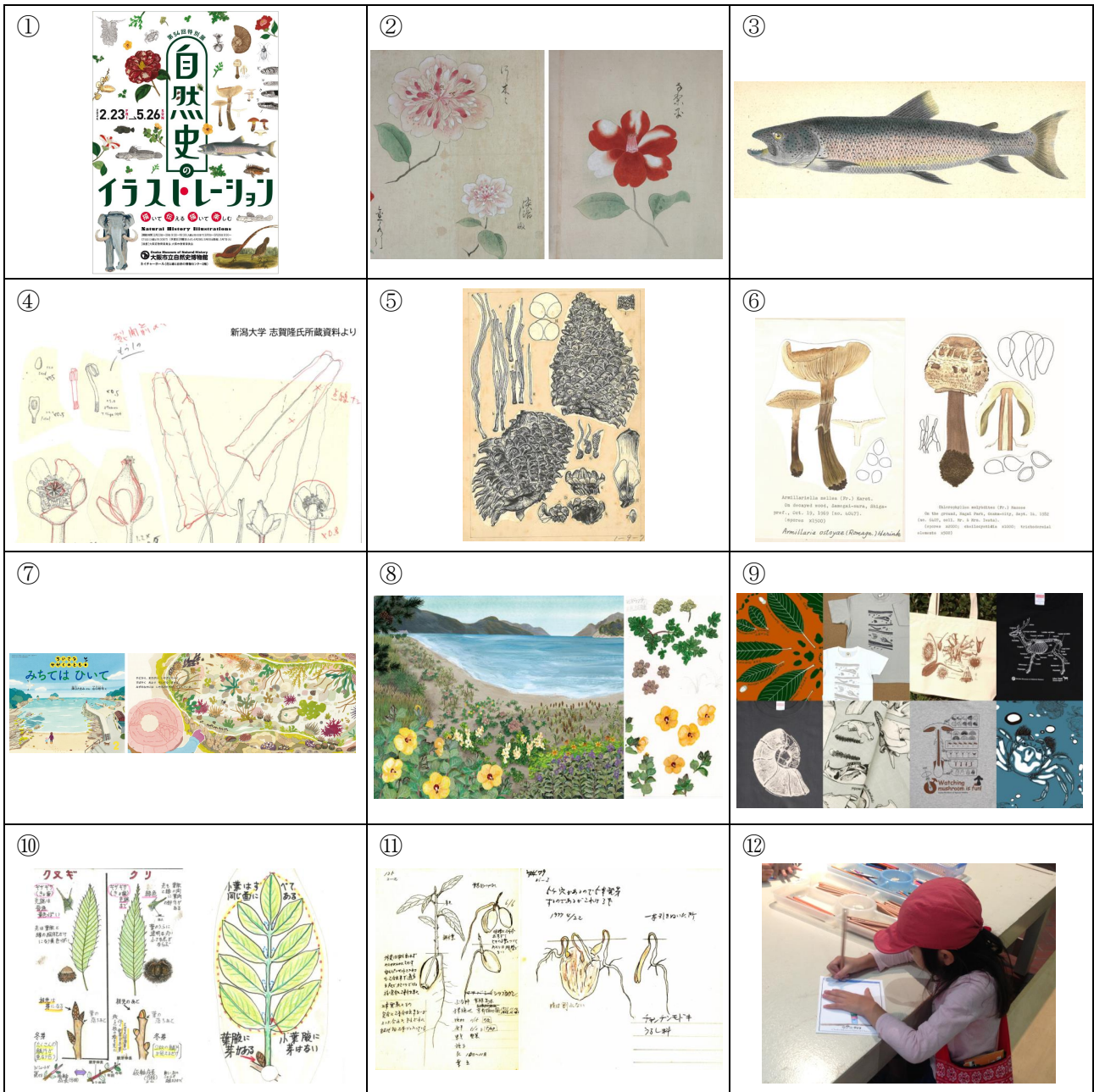
会場には、来場者の皆さんが魅力的なイラストが使われた本を手にとったり、自由に絵を描けるコーナーもご用意しています。展示を見てイラストレーションの魅力に触れた後は、ぜひ自分でも見たり描いたりしてみてください。

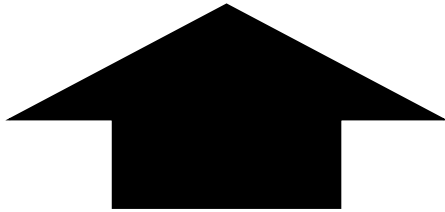


(写真はイメージです)

広報用画像一覧

掲載の画像①～⑫は広報用画像として提供いたします。ご希望の場合は、「広報用画像申込書」にて当館広報担当までお申込みください。





FAX : 06-6697-6225
 メール : shizenshikoho@ocm.osaka

<送信先>

送信先 : 大阪市立自然史博物館
 総務課 広報 宛
 TEL.06-6697-6222 FAX.06-6697-6225
 〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

「自然史のイラストレーション ～描いて伝える・描いて楽しむ～」 広報用画像申込書

<画像使用に際してのお願い>

- ・ご希望の画像に○印をつけ、下記にご記入のうえ、ご返信ください。
- ・画像は本展広報目的での使用に限ります。使用可能期間は本展会期終了（令和6年5月26日(日)）までとなります。使用後は、データを破棄してください。
- ・掲載記事・番組内容については、基本情報確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で総務課広報宛まで FAX またはメールをお送りください。また、掲載媒体を1部、総務課宛にお送り下さい。
- ・「みちては ひいて」の画像を掲載する場合は、以下のクレジットを必ず表記してください。

「みちては ひいて」文・澤口たまみ 絵・山口哲司 福音館書店（ちいさなかがくのとも 2023年2月号）

No.	画像名	No.	画像名
1	チラシビジュアル	2	江戸時代に描かれた椿の図譜
3	ペリーの航海記に載ったイトウの図	4	シモツケコウホネの新種記載の図の下書き
5	三木茂のオオミツバマツの新種記載の図	6	本郷次雄によるキノコ図鑑の原記載図
7	「みちては ひいて」文・澤口たまみ 絵・山口哲司 福音館書店（ちいさなかがくのとも 2023年2月号）	8	「瀬戸内海の家浜植物」の表紙の原画
9	ミュージアムグッズ大集合！	10	田代貢さんの観察会を楽しむためのイラスト
11	北島浅子さんの芽生えのスケッチ	12	見てみよう・描いてみよう

貴社名・媒体名	
掲載・放送予定日	
所属部署／ご担当者名	
ご住所	〒
連絡先	電話 : FAX : メール :



FAX : 06-6697-6225

メール : shizenshikoho@ocm.osaka

<送信先>

送信先 : 大阪市立自然史博物館

総務課 広報 宛

TEL.06-6697-6222 FAX.06-6697-6225

〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

「自然史のイラストレーション ～描いて伝える・描いて楽しむ～」 プレス内覧会 取材申込書

プレス内覧会における取材をご希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、総務課広報宛にメールもしくはFAXにてご返信ください。

■ プレス内覧会

〔日時〕 令和6年2月22日(木)
午後0時30分～

〔会場〕 大阪市立自然史博物館
本館 集会室 および 特別展会場

※博物館通用口からお越してください。



博物館通用口

貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
人数 (カメラ含む)	
ご住所	〒
ご連絡先	電話 : メール : FAX :

